

油圧プーラセット GLP・GTP

取扱説明書

注意

- 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- 使用前には作動油の油量は適量範囲内かを確認して下さい。
- 作業前には必ず各部の点検を実施し、異常があれば使用しないで下さい。
- 作動油は一般作動油の粘度グレード ISO VG32 をご使用下さい。
- 作動油の廃棄は産業廃棄物に該当するので廃棄物処理業者に委託して廃棄して下さい。
- 屋内仕様のため、雨水のかかるところでは使用出来ません。
- 使用温度範囲は 0 ~ 40 度です。
- 消防法には適合しておりません。

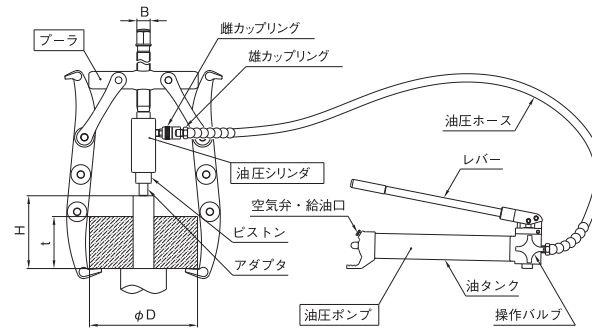
警告

- 最大出力以上の圧力や荷重をかけないで下さい。
- ピストンをストロークエンドまで突き上げての使用は避けて下さい。
- 油圧ホースの最小曲げ半径は 110mm です。それ以下に曲げないで下さい。また、加圧時は絶対に油圧ホースを手で握らないで下さい。
- 加圧状態のシリンダからカップリングを外さないで下さい。
- 本機を投げたり、衝撃を与えるようなことはしないで下さい。
- 作動油が飛散した時、重大な被害が生じる恐れのある場所では使用出来ません。特に火気の近くでは使用しないで下さい。
- 空気弁を閉じたまま使用しないで下さい。油タンクが破損し、人身事故につながる恐れがあります。
- 油圧ポンプの高圧安全弁は 70MPa に調整しております。絶対に 70MPa 以上に上げないで下さい。油圧機器が破損し、事故につながる恐れがあります。
- 最高使用圧力 70MPa 未満の油圧機器にご使用の際は、油圧計等を用いて使用圧力を守ってご使用下さい。
- 油圧シリンダには垂直に荷重をかけて下さい。(偏荷重は、かけないで下さい。)
- 油圧ホースは消耗品です。外観上は何ら異常が認められない状態であっても、内部に傷やピンホールなどが発生している可能性がありますので、定期的に交換して下さい。
- 作動油が目に入った場合は、清浄な水で洗浄した後、医師の手当てを受けて下さい。また、皮膚に付着した場合は水と石鹸で洗って下さい。
- 改造しないで下さい。

用途

各種機械・船舶等の修理の際にギヤー・プーリ・ベアリング等を取り外す工具です。

仕様



2本爪油圧プーラセット GLP



3本爪油圧プーラセット GTP

能力・寸法表

2本爪 油圧プーラ セット	3本爪 油圧プーラ セット	D		t	H		B	ねじ 外径	油圧ポンプ		油圧シリンダ		
		引抜物の直径 最小	最大	引抜物の幅 (Dが最大の時)	爪の届く長さ		ねじ 六角対応		品番	吐出圧力 (MPa)	品番	ストローク	最大荷重 (kN)
					L使用時	S使用時							
GLP10	—	100	250	125	125	150	30	HP500AN	1.4~70	GPC1012	50	100	
—	GTP10						32						
GLP12	GTP12	120	300	170	175	200	32						
GLP15	GTP15	150	375	185	180	210	41						
GLP18	GTP18	180	450	200	220	250	46						
GLP24	—	280	600	175	300	—	44			GPC1518		140	
										GPC24		230	

株式会社 **スーパーツール**

ホームページ

お問い合わせ、ご相談は通話料無料

ハローサービス

お客様相談室 ☎0120-86-4859

https://www.supertool.co.jp/

本社・工場 〒599-8243 大阪府堺市中央区見野山158番地 TEL.072-236-552(代) FAX.072-236-5785

大阪支店 TEL.072-236-5526(代) 札幌 TEL.011-864-3581 北関東 TEL.048-682-5000
 東京支店 TEL.03-5750-2341(代) 仙台 TEL.022-294-1922 広島 TEL.082-293-5570
 名古屋支店 TEL.052-323-0701(代) 新潟 TEL.025-287-5353 福岡 TEL.092-431-1897



■取り扱いについて

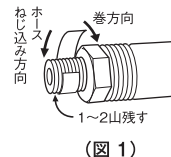
1. 接続方法

①油圧ポンプと油圧ホースの接続

油圧ホースのねじ部をポンプ側にねじ込んで下さい。

※初めて油圧ホースと油圧シリンダを取り付けて使用される時は油圧シリンダの動作をスムーズにするため、エア抜きを行って下さい。(3. エア抜き を参照して下さい。)

※ねじ部にシール材が無い場合は、シールテープを巻いてからねじ込んで下さい。(図 1)



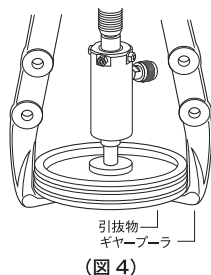
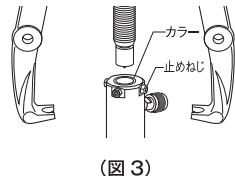
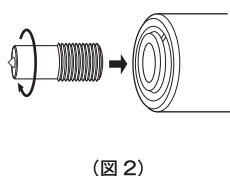
②油圧シリンダとギヤブーラの接続・取り付け

油圧シリンダのピストンにシリンダ用アダプタをねじ込んで下さい。(図 2)

油圧シリンダをギヤブーラのアダプタに挿し込み、止めねじで固定して下さい。(図 3)

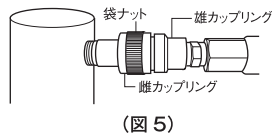
(注: GLP12 / 18, GTP18 の場合は中のカラーを取り外して下さい。)

その後、引抜物に取り付けて下さい。(図 4)



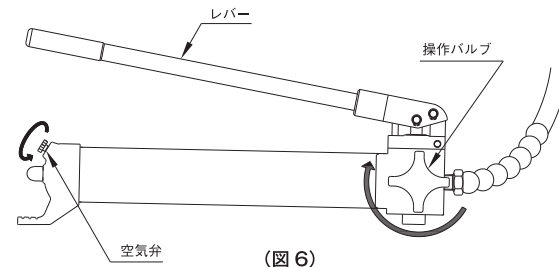
③油圧シリンダと油圧ホースの接続

油圧ホースの雄カップリングをシリンダの雌カップリングに差し込み、手で袋ナットを根元まで完全に締めて下さい。接続に緩みがあると油が流れずピストンが作動しない場合があります。カップリング同士を接続する際は汚れをきれいに拭き取って下さい。シールが傷つき、油漏れの原因となります。(図 5)



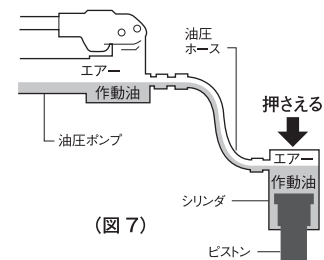
2. 操作方法

- ①油圧ポンプを水平な場所に置き、空気弁を少し開け、操作バルブを締めて下さい。(図 6)
- ②油圧ポンプのレバーを上下に作動させると、油圧シリンダのピストンが伸長します。
- ③操作バルブを緩めると、油圧シリンダのピストンが収縮します。
- ④使用後は油圧ポンプの操作バルブを緩め、空気弁を閉じて下さい。油圧ホースと油圧シリンダのカップリングを外す際には、油圧シリンダのピストンが完全に戻っているか確認して下さい。また、異物の混入を防ぐため必ず保護キャップを取り付けて下さい。



3. エア抜き

- ①油圧ホースと油圧シリンダを接続し、油圧ポンプを操作してピストンをいっぱいまで伸ばして下さい。
- ②油圧シリンダを油圧ポンプより低く配置し、油圧ポンプの操作バルブを緩めてピストンを下方に押さえつけて完全に戻して下さい。(図 7)
- ③上記の要領で 2〜3 回ピストンの伸縮を行って下さい。



4. 油圧ポンプへの注油

ポンプを水平な場所に置いて下さい。(油圧シリンダを接続している場合は、ピストンが完全に戻っていることを確認して下さい。)
給油口を開き、いっぱいまで注油して下さい。